

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援教室わかさ大庄南			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日		～	2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用対象者が特別支援学校の生徒のみである。 (主に中学部・高等部＋系列事業所からの小学部高学年)	系列事業所から支援学校小学部高学年以上の児童を受け入れ、スムーズな以降のために、これまでの取り組みや目標・課題等引継ぎを受けている。 地域の学校に通われている、小学生・中学生・高校生の受け入れは行っていない。	職員が系列事業所に事前に出向き、活動中の児童の様子や、直接、担当職員からの引継ぎが受けられるようにしたい。
2	クラス分けを実施している。	落ち着いて過ごせるよう、少人数でのクラス分けを実施。個々の特性や能力を考慮し、一人一人が負担なく過ごせるように年度ごとに状況に応じてクラス替えを行う。	より配慮が必要な利用者に対して、クールダウンスペースの確保やパーテーションなどを使用した環境整備に取り組んでいきたい。
3	支援学校卒業後を見据えた、集団・個別・戸外での活動内容	個々のニーズや課題、目標に応じた活動の提供。 勝ち負けへの折り合い、順番を守る、創造力を養う、手先の巧緻性、ルールを守るなど、将来の自立に必要な力を身につけられるように、様々な活動を提供している。	生活介護や就労支援事業所へのスムーズな移行の為に、簡単な作業やお仕事の練習の機会を本格的に実施していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	更なるクラス分けの必要がある場合の教室の確保や使用方法	クラス分けを実施しているが、利用者の状況によりもう1クラス設ける必要がある可能性もある。	各部屋の使用方法の再検討及びクラス編成の考慮やレイアウト変更及び環境整備。
2	今後の継続した専門職、人材の確保	世間一般の福祉業界、保育士等の人材不足。	可能な限りの職場見学の実施や、入職後の職員研修の充実を図る。また、事業所内の勉強会開催の頻度を上げて、新人職員が定着しやすい環境を整える。
3	ブログでの活動報告ができていない	新規立ち上げの事業所であった為、時間の確保の問題と優先順位が低かったと思われる。	他の系列事業所同様に担当者を決め定期的にアップしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援教室わかさ大庄南

公表日 2025年2月10日

利用児童数

18

回収数

13

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1	0	0	記載なし	屋内だけではなく、戸外での活動（おでかけ・買い物学習等）も継続して実施致します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	0	記載なし	今後も基準以上の人員を配置致します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	1	0	記載なし	検討すべき点が発生した場合は、お子さまが過ごしやすい環境を整えさせていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	1	0	記載なし	現状維持を継続
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	0	記載なし	現状に満足せず、有資格者を配置し活動内容の充実に努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	1	記載なし	現状に満足せず、卒業後の将来を見据えた活動内容を提供致します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0	記載なし	現状に満足せず、お子さまの最善の利益の為、支援内容のさらなる向上に努めさせていただきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	1	記載なし	支援内容のさらなる向上に努めさせていただきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0	記載なし	支援内容のさらなる向上に努めさせていただきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	0	記載なし	活動にメリハリをつけ、お子さまの最善の利益の為、支援内容のさらなる向上に努めさせていただきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	3	7	特に要望していないので、現状のまま でいいと思います	必要であれば、今後検討致します。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0	記載なし	今後も、さらに保護者の方にわかりやすく説明させていただきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0	記載なし	今後も面談と合わせて、保護者様にお伝えさせていただきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	2	7	研修会等はないですが、アドバイスを 頂いたりしているので現状のままでいい と思います。	今後とも協力させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0	記載なし	現状に満足せず、さらに保護者の方にわかりやすくお伝えさせていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	0	記載なし	微力ではございますがお気持ちに寄り添い お力になれるよう努めさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1	0	0	記載なし	微力ではございますがお気持ちに寄り添い お力になれるよう努めさせていただきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	5	6	参加が難しいので、現状のままでいい と思います。	ご要望があれば今後検討させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	0	1	記載なし	保護者のご意見を大切にし、安心して利用 できる事業所であるように努めさせて 頂きます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1	0	0	記載なし	現状維持を継続
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	1	2	記載なし	引き続き活動概要のスケジュールカレンダーを配布致します。今後、活動の様子等をブログにて報告させて頂く予定としております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0	記載なし	個人情報の取り扱いに注意し職員一人ひとりにも指導致します。事業所内での書類の廃棄もシュレッターで行っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	2	記載なし	見直すべき点が発生した場合はマニュアルの修正を図ります。ご希望の方がいらっしゃる場合は閲覧も可能でございます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	0	2	記載なし	避難訓練（地震・火災・水害等）を実施し、持ち出し品・備蓄の確認も行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	0	2	記載なし	保護者様に安全確保についてご説明させて頂きます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	2	記載なし	もし、発生した場合は迅速に対応させて頂きます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0	記載なし	現状に満足せず、お子さまの最善の利益の為、支援内容のさらなる向上に努めさせて頂きます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	1	家では行けないような所に、行ったりできるので楽しみにしています。	現状に満足せず、お子さまの最善の利益の為、支援内容のさらなる向上に努めさせて頂きます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0	困った事に対してすぐに対応して頂き感謝しております。	現状に満足せず、お子さまの最善の利益の為、支援内容のさらなる向上に努めさせて頂きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年2月10日				
発達支援教室わかさ大庄南						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	使用できる部屋は2～3部屋あるので、継続してクラス分けを行う。屋内だけではなく、戸外の活動も継続して実施する。	今後、新規利用の児童の特性により、検討事項が発生すると思われる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	0	6	基準は満たしているが、利用者数に応じて基準以上の人員配置を目指す。（保育士、心理士、児童指導員等）	支援内容の充実の為に、職員を補充する必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	活動内容、安全面を考慮して、室内の環境整備・構造化を行っている。	今後、新規利用の児童の特性により、検討事項が発生すると思われる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	活動内容、利用者の特性を考慮し過ごしやすい空間になるよう配慮している。毎日の清掃・アルコール消毒を実施している。	使用する備品やおもちゃ等、清潔な物であるかどうかの確認は継続が必要である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	クールダウンができる部屋やスペースを確保し、利用者からの申し出や職員からの促しにより使用できるようにしている。	希望する児童の人数により、クールダウン等で使用する部屋が使用できない可能性も発生すると思われる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日の朝礼や必要に応じて職員会議を開催し、問題や課題を共有し、発言・立案ができる機会を設けている。	新規職員への周知も課題にある為、書面及び口頭説明を徹底していくことも必要である。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	保護者向け評価表を閲覧できるようにする。回収後、討議も開催し改善に繋げる。新規立ち上げ事業所の為、初回の評価となる。	会議を開催し共通認識を持てるようにしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	毎日の朝礼や必要に応じて職員会議を開催し、問題や課題を共有し、発言・立案ができる機会を設けている。	発言しやすい環境整える意識づけをしていく必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	第三者評価は受けていない。	外部評価を必要とする際は検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	市町村・NPO等が主催する研修のお知らせを掲示し周知させ、法人で研修費・交通費を負担し希望者に参加させている。系列事業所管理者が講師となり研修も実施している。	研修実施の時間確保や日程調整がいつも難航してしまう。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	現在の事業所の提供している・できている支援内容を職員間で話し合い作成している。	職員と話し合い、統一した意識を持ち続ける必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	利用時の様子、モニタリング、保護者面談での情報を分析し、一人一人の目標や課題を定め作成している。	今後も継続して実施。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員間でのモニタリング及び支援計画会議により利用者の目標達成の評価をつけ作成している。	個別支援計画作成会議を今後も継続していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画更新後、1名ごとに計画の内容を再確認する会議を開催し、療育内容・支援方法・注意点・活動の目的・目標等を確認している。	今後も継続して実施。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	日々の利用者一人一人の個人記録を作成、保管し、記録類を参考にしながら過去の利用者様子も検証できるようにしている。	今後も継続して実施。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	各項目ごとに、目標・具体的な支援内容・留意事項等記載し、提供上のポイントや5領域との関連性も記載している。	今後も継続して実施。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	個別支援計画を基に活動内容を考え、職員間で意見を出し話し合いながら考えている。	事業所で提供する活動のアイデアを出し合う機会を増やしたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	療育的観点により固定化も必要な場合もあるが、利用者の成長や目標内容によって活動内容を変更している。	事業所で提供する活動のアイデアを出し合う機会を増やしたい。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団での活動、個別での活動の様子を分析し、作成し支援に繋げている。	今後も継続して実施。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼時その他、職員間で話し合い、役割等共通の認識を持てるようにしている。クラスごとに細かな打ち合わせを実施している。	事前に余裕を持って打ち合わせができる時間を確保したい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	翌日に前日の振り返りができるようにしている。活動中の利用者の様子を振り返り、活動内容の見直しや、新たな取り組み、次回支援について意見交換を行っている。	支援終了後、送迎や掃除がある為時間が限られてしまう。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の利用者一人一人の個人記録を作成、保管し、記録を類を参考にしながら過去のお子さまの様子も検証することができている。	今後も継続して実施。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	職員間でのモニタリング及び利用者の目標達成の評価をつけ、支援計画を見直し、作成している。	今後も継続して実施。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	1	支援内容を工夫し、設定の遊びや制作活動、SST、戸外活動等において行えるようにしている。	今後も継続して実施。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	利用者同士による、活動内容の立案や相談する場面も設けている。また、戸外活動のお出かけ先の希望も出し合うこともある。自分でやりたいことを選択する経験の場を提供している。	今後も継続して実施。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	相談支援専門員とのモニタリング時期での報告を実施。サービス担当者会議の出席を他事業所から要請された場合は参加致します。	今後も継続して実施。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	まず、相談室と連携し必要に応じてその他関係機関と連携体制が取れるようにしている。	今後も継続して実施。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	阪神特別支援学校の規定に従っている。	必要に応じて行事予定の共有も検討する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	系列の児童発達支援事業所との体制は整えている。事業所の受け入れ対象もあり、情報共有の優先度は低いと思われる。	事業所の受け入れ対象もあり、情報共有の優先度は低いと思われる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	外部への情報提供が必要な場合は、保護者の承諾の下行います。新規立ち上げ事業所の為、実績なし。	可能な限り移行先に訪問をし、引継ぎ等行いたいのが時間の確保が問題となると思われる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	連携はそこまで行えてないが、各研修の情報を周知させ、法人で研修費・交通費を負担し希望者に参加させている。	法人主催の研修以外では、送迎や営業時間に重なり参加できない状況がよくある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	実施実績はないが、今後検討する。	ご要望がある場合は検討が必要である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	代表者が可能な限り参加している。	今後も継続して実施。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡シート、送迎時、面談時に利用者の日々の様子をお伝えしております。	今後も継続して実施。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	必要であれば家庭でのお子さまとの関わり方についてのアドバイスを行っている。	今後も継続して実施。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	見学时・契約時において、支援内容、利用者負担について説明している。	今後も継続して実施。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	支援計画作成前の面談時に、保護者や家庭のニーズを聞き取り、反映させている。	今後も継続して実施。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	直接お会いして支援計画内容の説明を実施。	今後も継続して実施。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談を受けた場合は、電話や面談等により対応している。	今後も継続して実施。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	実施実績はないが、今後必要であれば検討する。	ご要望がある場合は検討が必要である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	あった場合はマニュアルに沿ってその内容を職員に周知し対応・解決に努めることとする。	今後も継続して実施。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	一人一人の活動概要のスケジュールカレンダーを長期休みに配布している。今後、ブログによる活動報告も予定している。	今後も継続して実施。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	契約時に個人情報取り扱いについての書面にご署名・押印して頂き、当事業所で管理している。	今後も継続して実施。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	視覚優位の利用者に対しては、視覚情報を用いる配慮や、保護者に対しては連絡シート・各お知らせの書面・メール等で情報伝達をしている。	今後も継続して実施。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	実施実績なし。 (地域住民の招待を望まない利用者もいると推測される為。)	ご要望がある場合は検討が必要である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを作成し、訓練を実施している。	今後も継続して実施。 面談の機会において保護者様に周知していく必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCP研修を実施し訓練を行っている。	今後も継続して実施。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に情報シートを記載して頂き、確認している。	今後も継続して実施。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時に情報シートを記載して頂き、確認している。	今後も継続して実施。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	事業所の安全計画を基に行っている。	今後も継続して実施。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	避難訓練をした際に、連絡シートにて避難時の様子を共有している。	面談の機会において保護者様に周知していく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	専用の様式の書類に内容を記載し、閲覧できるように保管している。	今後も継続して実施。 ヒヤリハット作成の頻度を上げていく必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修や研修動画視聴の機会を設けている。過去の虐待防止関連の研修の資料を閲覧できるようにしている。	今後も継続して実施。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	パニックや他害による身体拘束は該当なし。 必要であれば、同意書も頂くこととしている。	今後も継続して実施。